

進行・再発癌

 術後補助化学療法

 術前補助化学療法

 大量化学療法

 局所療法

 その他( )

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	アテゾリズマブ (テセントリク)	1200mg/body	div	初回60分 2回目以降 30分	d1
2	ベバシズマブ (アバスタチン・Bv)	15mg/kg	div	初回90分 2回目以降 60~90分 3回目以降 30~90分	d1

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	21日
総コース数	PDまたは効果がある限り継続
コース間での休薬の規定	BV: 蛋白尿 UPC比>2g/day以上、アテゾリズマブ: 重篤またはコントロールができないirAE発現時 ・肝障害: アテゾリズマブ休薬基準 ベースラインAST/ALT: 正常→G2で休薬 ベースラインAST/ALT: ULC×1-3→ULN5倍で休薬 ベースラインAST/ALT: ULC×3-5→ULN8倍で休薬

減量規定・中止基準	・減量基準は無し ・中止基準 アテゾリズマブ: 重篤またはコントロールができないirAE発現時 BV: 高血圧Grade3で降圧剤にてコントロールできない場合またはGrade4、肺出血Grade2、血栓症/塞栓症(静脈系)Grade4、血栓症/塞栓症(動脈系)Grade1、消化管穿孔全Grade、ネフローゼ症候群
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	アテゾリズマブ→BV
プレメディケーション・ポストメディケーション	なし

※CTCAE v5.0

## 患者条件

- ・ECOG PS 0~1、転移性肝癌、切除不能局所進行肝細胞癌、Child-Pugh A

## 除外規定

- ・自己免疫性疾患を有する者、未治療の食道静脈瘤(出血や出血のハイリスク状態を有する)
- ・本成分に重篤な過敏症のある患者
- ・手術実施日より、28日以内の患者(ただし術式による)
- ・喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者

## 実施上の注意点

- ・投与前に上部消化管内視鏡検査を推奨[食道・胃静脈瘤の確認と治療(F2以上またはRCの場合)、6ヶ月以内なら再度の検査は不要]
- ・28日以内に重篤または未回復の創傷、消化管潰瘍、もしくは骨折の既往がない事を確認。
- ・間質性肺炎、肺繊維症、又はこれらの疾患の既往歴のある患者

## その他(特記事項)

アテゾリズマブ: 日局生理食塩液に添加し、最終濃度を3.2~12.0mg/mLとした上で点滴静注する。投与時は0.2又は0.22µmのインラインフィルターを使用すること。